

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

1. 平成26年度航空宇宙産業フォーラム推進会議 (6月16日) の開催 (定款第4条第1項第6号)

名古屋栄ビルディング(12階大会議室)にて、三田敏雄中部航空宇宙産業技術センター会長を座長としたフォーラム推進会議の開催を事務局として支援。主催者である中部経済産業局より、山本局長の挨拶及び25年度の総括と今後の取り組みについて説明あり。その後、推進会議メンバーによる意見交換を行った。

2. 航空機部品供給システム研究会の定例講演会の開催 (定款第4条第1項第2号)

(愛知県と共催、2回開催)

第16回 定例講演会 テーマ：航空機産業の新市場獲得に向けた取組
～顧客ニーズに応える技術と戦略～
(8月6日(水)、名古屋銀行協会)

住友精密工業(株) 技師長 高橋 教雄 氏

「装備品・部品市場参入に向けて～顧客ニーズに応える住友精密の技術と戦略～」

天龍エアロコンポーネント(株) 取締役 生産本部 本部長 中村 勇 氏

「中小企業による航空機部品の一貫生産に向けた体制整備等について」

第17回 定例講演会 テーマ：航空機器・部品産業の最新動向
～中部地域の先進的取組事例～

(3月26日開催、ダイテックサカエ 6階 クリエイトホール)

ナブテスコ(株)航空宇宙カンパニー 岐阜工場 工場長 清水 功 氏

「民間航空機装備品メーカーの現状と新規参入への期待」

(株)放電精密加工研究所 MP ソリューション中部事業部取締役事業部長 安藤 洋平 氏

「中小クラスターによる民航エンジン部品一貫加工への取組み」(仮称)

愛知県

「愛知県の航空宇宙産業振興への取組」

3. 新産業集積創出基盤構築支援事業 (第4条第1項第1号、第2号、第4号)

(事業名：中部航空宇宙産業新クラスター形成支援事業) (経産省：30,276千円)

「東海産業競争力協議会」において2014年3月にとりまとめられた報告書「TOKA I V I S I O N ～世界最強のものづくり先進地域を目指して～」では、この地域の戦略産業のひとつに航空機産業が選定されている。

TOKAI VISIONでは、拡大する世界的な民間航空機需要を取り込み、この地域の航空機産業を自動車に続く次世代産業としていくために、“研究開発から設計・開発、製造・販売、保守管理までの一貫体制を構築し、アジア等新興国の追随を許さない、欧米先進地域と肩を並べる日本で唯一の集積地「アジアNo. 1クラスター」を形成する”という大目標がかかげられ、次の4つの短期的または中長期的に取り組むべき事項が示されている。

- (a) MRJの開発及び量産活動（短期的）
- (b) 国際共同開発プロジェクトの増産対応（短期的）
- (c) 装備品ビジネスの取組（中長期的）
- (d) 新市場開拓のための取組（中長期的）

これらの4つの取り組むべき事項を具体化するために、次の5項目のテーマが取り上げられている。

- ① サプライチェーン強化（個社支援、グループ化、生産システム効率化）
- ② 国内装備品の拡大
- ③ 新技術の創出（体制整備、プロジェクトメイク、先端機能誘致）
- ④ 人材の確保、定着、育成
- ⑤ 支援機能の向上（立地環境、海外クラスター連携、認証取得、支援体制構築）

中部経済産業局から委託を受けた「新産業集積創出基盤構築支援事業（事業名：中部航空宇宙産業新クラスター形成支援事業）」において、前記5項目のテーマの実現に向けた事業を実施した。この事業は、クラスターマネージャ：1名、コーディネータ：5名を配置して実施。

(1) サプライチェーン強化

1) サプライチェーン委員会の開催

この地域の実情に合った最適なサプライチェーン（企業単独方式、共同体方式等）の構築について議論するために、機体メーカー及びパートナー企業等で構成する委員会を設置し、課題・ニーズの把握や支援策・対応策等の検討を行った。

このサプライチェーン委員会は10月24日（金）、12月15日（月）及び2月5日（木）に開催し、サプライチェーンの構築に必要なロードマップを示した。

2) 国内外サプライチェーン実態調査

中部地域における中小企業等のサプライチェーンのあり方及び中小企業のニーズ等について、海外先進クラスター（シアトル、トゥールーズ、ハンブルグ、モントリオール）等の実態調査及び国内企業（航空機部材の一貫生産体制（ミニクラスター）構築の進捗状況を含む）の調査（ヒアリング等）を行い、サプライチェーン委員会に対して情報提供を行った。

3) セミナー及びシンポジウムの開催

① 航空機産業マッチングセミナー

航空機産業への新規参入を目指す異業種企業を支援するために、（公財）岐阜県研究開発財団との共催にて、平成26年度航空機産業マッチングセミナーを開催した。

日 時 : 平成26年9月5日(金) 13:30~17:00
場 所 : じゅうろくプラザ 5F 中会議室1 (岐阜市橋本町)
参加者 : 98名

[内 容]

講演1「航空機製造における品質保証について」

川崎重工業株式会社 航空宇宙カンパニー
QM推進本部 品質保証部 品証技術課 課長 岩永 賢一 氏

講演2「新規参入の実現と、その副産物」

有限会社大堀研磨工業所 代表取締役社長 大堀 憲 氏

講演3「KYB(株) 航空機器事業の紹介及び今後の展望について」

KYB株式会社 ハイドロリックコンポーネンツ事業本部
航空営業部 副部長 加藤 眞吾 氏
航空技術部 第3設計室長 能勢 卓磨 氏

② 自動車生産方式導入等の航空機生産性向上セミナー

海外の航空機関連メーカーが日本の自動車業界の生産方式を取り入れ、生産の効率化を図っていることを踏まえて、生産性向上に資する指導実績がある講師を招き、他地域の航空機製造現場で導入されている生産方式に関するセミナーを開催し、当地域の航空機関連企業への情報提供を行った。

日 時 : 平成27年2月20日(金) 13:30~17:40

場 所 : ダイテックサカエ 4F スターホール (名古屋市中区錦三丁目)

参加者 : 61名

[内 容]

講演1 『航空機生産におけるトヨタ生産方式の適用について』

安田技術士事務所 技術士 安田 義美 氏

講演2 『自動車業界におけるEDI (Electronic Data Interchange) 導入と今後の進め方』

小島プレス株式会社 総務統括部 参事 兼子 邦彦 氏

講演3 『制御システムのサイバーセキュリティ -現状と対策-』

KPMG コンサルティング株式会社 内山 公雄 氏

③ Greater Nagoya - U.S. Aerospace Symposium 2015

当地域企業に対して最新のマーケット情報、サプライチェーン及び技術のニーズ情報・動向等について情報提供を行うことを目的として、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会と連携して、次の有力な海外航空宇宙関連企業を招聘して3月5日(木)にシンポジウムを開催した。

日 時 : 平成27年3月5日(木) 14:00~17:00

場 所 : 名古屋東急ホテル 3階 ルネッサンス (名古屋市中区栄)

参加者 : セミナー 166名、ネットワーキング(懇親会) 70名以上

[講演企業]

演題1 『Rockwell Collins Company Overview and Future Collaboration Opportunities』

ロックウェル・コリンズ (Rockwell Collins)

マネージングディレクター

ニコラス・ギブス氏

演題 2 『Geared Turbofan Engine / Game-changing Technology』

プラット・アンド・ホイットニー (Pratt & Whitney)

プログラムマネージャー

ジョニー・ガマロ氏

4) 技術融合・異分野参入促進個別相談会

新たなサプライヤーの発掘を目的として、航空機産業への参入を目指す自動車業界等の異業種企業及び新しい販路開拓を模索している既参入企業を対象として、各装備品メーカーからの技術等ニーズを開示する企業ニーズセミナー及び逆見本市形式の個別相談会の開催によるマッチング機会の提供を行った。

個別相談会は1月21日(水)に開催し、装備品メーカー3社(シンフォニアテクノロジー(株)、多摩川精機(株)及びナブテスコ(株))が、19社と24件の面談を行った。応募は、34社から63件あり、その中から装備品メーカーによって面談会社を選ばれた。

(2) 国内装備品の拡大

1) 装備品委員会の開催

電動化の可能性のある装備品分野の分析、航空機産業以外の産業との連携方法、認証取得に関する共通課題の抽出とその対応策(関係企業間のグループ化等)について検討するために、機体メーカー及び装備品メーカー等で構成する委員会を設置した。

装備品委員会は、9月30日(火)、12月2日(火)及び2月24日(火)に開催した。

2) ソフトウェア認証セミナー

航空機の電動化(モア・エレクトリック)に向けた新たな装備品市場の獲得や装備品の国産化に向け、ソフトウェア開発保証プロセスに係る基礎情報、国産旅客機等におけるソフトウェア開発・認証のノウハウ等の蓄積や情報共有を目的として、ソフトウェア認証取得関連等で国内外の実績、ノウハウのある企業・団体を招聘して、認証取得に係わるノウハウの獲得に向けた専門性の高いセミナーを12月2日(火)の装備品委員会の前に開催した。

日 時：平成26年12月2日(火) 13:30~15:35

場 所：安保ホール 301(名古屋市中村区名駅3丁目)

参加者：第2回装備品委員会の出席者

[内 容]

講演1 『航空機装備システムの開発プロセスとソフトウェア認証要求について』

住友精密工業株式会社 技師長

高橋 教雄 氏

講演2 『Do-178B/254によるソフトウェア認証活動の概要』

三菱航空機株式会社 開発プロジェクト本部 主幹

吉田 裕一 氏

講演3 『IBM Rational DOORSのご紹介』

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業

(3) 新技術の創出

1) セミナーの開催

具体的な研究開発テーマの発掘及びニュービジネスの立ち上げに向けた情報提供のためのセミナー（航空新技術・市場関連、新材料関連、宇宙産業関連等）を開催した。

① 航空イノベーション・セミナー

航空機産業に関する総合的な視点からの知識と経験の提供を目的として、航空分野のビジネスモデル、政策・制度、技術研究開発、人材育成等をテーマにしたイノベーション・セミナーを東京大学航空イノベーション統括寄付講座及び東京大学航空イノベーション研究会と連携して2月3日（火）に開催した。

今年度のイノベーション・セミナーのテーマは「無人機」と「MRO (Maintenance Repair and Overhaul)」であった。セミナー終了後、懇親会を実施した。

日 時： 平成27年2月3日（火） 13：30～17：50

場 所： 名鉄ニューグランドホテル 7F 『樺の間』（JR名古屋駅前 新幹線口）

参加者： セミナー 153名、懇親会 61名

[内 容]

講演1 『無人航空機の開発事例』

独立行政法人産業技術総合研究所 知能システム研究部門

フィールドロボティクス研究グループ主任研究員

岩田 拓也 氏

講演2 『無人航空機の世界の動向』

一般社団法人日本中小企業共同事業会—新鋭の匠 理事

千田 泰弘 氏

講演3 『無人航空機のルール策定に向けて』

一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 理事・事務局長

熊田 知之 氏

講演4 『MRJはMRO参入障壁を崩せるか？』

三菱重工業株式会社 交通・輸送ドメイン 事業戦略推進室 主幹 伊藤 一彦 氏

講演5 『MROに係る安全規制および現況』

国土交通省 航空局 安全部 航空機安全課 課長

川勝 弘彦 氏

講演6 『エアラインとMRO』

株式会社ANA 総合研究所 主席研究員

山田 圭一 氏

講演7 『装備品産業からみたMROビジネス～米国の現状とMRJ事業に向けて』

住友精密工業株式会社 技師長

高橋 教雄 氏

講演8 『中小企業とMRO』

一般社団法人日本中小企業共同事業会—新鋭の匠 理事

千田 泰弘 氏

② 航空機用新材料・新技術セミナー

航空機用新材料に係わる情報を提供するセミナーを開催し、情報・知識の導入を行った。

日 時： 平成26年11月7日（金） 13：30～17：00

場 所： キャッスルプラザ 4F 『樺の間』（名古屋市中村区名駅四丁目）

参加者：37名

[内 容]

- 講演1 『新 FeCo 系磁歪発電合金開発とそのスマート化技術応用展開』
国立大学法人弘前大学 北日本新エネルギー研究所 教授 古屋 泰文 氏
- 講演2 『自己治癒性が実現するセラミックス航空機部材』
国立大学法人横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 中尾 航 氏
- 講演3 『3Dゲルプリンターが開拓する「ソフト材料」×「機械」のソフトウェア・イノベーション』
国立大学法人山形大学 大学院理工学研究科 教授 古川 英光 氏
- 講演4 『戦略的次世代航空機研究開発ビジョンと JAXA 航空の取り組み』
独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
航空本部 特任担当役 岩宮 敏幸 氏

③ 宇宙関連新産業セミナー

新需要、新サービス創出を促進する観点から、宇宙産業関連（例えば、超小型衛星等）の最新情報を提供するセミナーを3月2日（月）に開催。

日 時：平成27年3月2日（月） 14：00～17：00

場 所：キャッスルプラザ 4F 『梓の間』（名古屋市中村区名駅四丁目）

参加者：60名

[内 容]

- 講演1 『世界の宇宙産業と我が国の宇宙政策の動向』
経済産業省 製造産業局 航空機武器宇宙産業課 宇宙産業室長 恒藤 晃 氏
- 講演2 『ChubuSat-1（金しゃち1号）の打ち上げと今後の展望』
国立大学法人名古屋大学 太陽地球環境研究所 教授 田島 宏康 氏
- 講演3 『日本の超小型衛星ビジネスモデルへの支援策』
独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
新事業促進センター センター長 小川 眞司 氏
- 講演4 『新型基幹ロケットの開発について』
三菱重工業株式会社 防衛・宇宙ドメイン 宇宙事業部 宇宙システム技術部
主席プロジェクト統括（新型基幹ロケット） 新津 真行 氏

2) 航空機関連技術動向調査

海外メーカーとのグローバルな競争に打ち勝ち、中部地域で強化すべき技術の方向性を見いだすために、装備品（当該関連システム含む）に関し、国内装備品メーカーによる世界の装備品市場の開拓促進の支援等に向けて、海外の機体メーカー及び装備品メーカー等が想定している先進的な技術等に関する技術動向調査を行い、本事業で開催する委員会等で情報共有する。

この技術動向調査は、三菱エンジニアリング（株）に委託した。

(4) 人材の確保、定着、育成

1) 技能レベル標準化研究会

平成 25 年度次世代航空宇宙関連産業国際競争力強化支援事業における「航空機産業支援機能高度化委員会」において、生産技能職人材育成に係わる講座の平成 28 年度開設が提言された。この提言を念頭において、工程表、各機体メーカー及びパートナー等に横断的に必要とされる技能レベル、教育内容（カリキュラム及びテキスト等）の共通化を図ると共に、教育の提供にあたり必要とされる組織体制・運用等について検討するために、航空機関連企業、自治体、教育機関等で構成する研究会を設置した。

この研究会は 8 月 25 日（月）、10 月 21 日（火）及び 2 月 10 日（火）に開催して、組立技能職（初級）のカリキュラムとテキスト等について調整するとともに、H28 年度に講習を開始するための課題や対応策について検討を行った。

2) 技能レベル標準化カリキュラム等の作成

3 重工（MHI、KHI、FHI）の組立技能職の教育担当者を中心として組立技能職教育（生産職基本、初級構造）のカリキュラムとテキストを作成し、技能レベル標準化研究会に上程した。カリキュラムとテキストの作成・取りまとめは（株）ブイ・アール・テクノセンターへ委託（外注）した。

3) 航空機産業一貫生産人材育成セミナーの開催

2 月 20 日（金）に、「自動車生産方式導入等の航空機生産性向上セミナー」に引き続いて「航空機産業一貫生産人材育成セミナー」を開催し、今後の航空機産業にとって必要とされる一貫生産人材等の育成について、専門家を招聘して委員会・研究会活動等への情報提供を行った。

日 時：平成 27 年 2 月 20 日（金） 15：50～17：40

場 所：ダイテックサカエ 4F スターホール（名古屋市中区錦三丁目）

参加者：70 名

[内 容]

講演 1 『航空機産業における地域ミニクラスターの人材等の問題・課題』

国立大学法人山形大学 人文学部 法経政策学科 准教授 山本 匡毅 氏

講演 2 『航空機部品製造に係わる地域人材共同育成の取り組み』

公益財団法人南信州・飯田産業センター 地域連携マネージャー

飯田航空宇宙プロジェクトマネージャー

松島 信雄 氏

講演 3 『VR テクノセンターの航空機産業人材育成講座』

株式会社ブイ・アール・テクノセンター 取締役本部長

青野 博喜 氏

(5) 支援機能の向上

1) 航空機産業機能整備高度化委員会

アジア等新興国の追従を許さない、欧米先進地域と肩を並べる日本で唯一の集積地「アジア No. 1 クラスタ」を目指す上で、当地域が有する支援機能のうち、海外先進クラスタと比較して不足している又は今後強化していくべき機能（人材育成（人材育成拠点の検討を含む）、研究開発・認証取得関連インフラの整備、中核支援組織、海外先進クラスタとの連携、立地環境等）及び中核支援機能の強化について検討するために、産官学の有識者で構成する委員会を設置した。

この委員会は、11月19日（水）と2月16日（月）に開催して、課題や対応策について検討を行った。

2) ファンボロー・エアショー等欧州ミッション

海外及び国内の航空宇宙関連の展示会等を活用して、地域のポテンシャルを継続的にアピールしている。具体的には、昨年7月に開催されたファンボロー・エアショー2014でのビジネス機会の活用を支援するとともに、新たな国際ビジネス機会の開拓に向け、ドイツ（ハンブルグ）などの海外クラスターのコア機関との意見交換等を行った。

4. 中小企業・小規模事業者ビジネス創出等支援事業 (定款第4条第1項第3号)

中部経済産業局中小企業課 専門家派遣事業（ミラサポ）において、25年度登録した「中部航空宇宙産業支援プラットフォーム」の代表機関として、既存の構成機関6行（愛知銀行、大垣共立銀行、十六銀行、中京銀行、名古屋銀行、百五銀行）に、本年度新たに2行（八十二銀行、三重銀行）が参加。中小企業からの相談事務に対応。

対応件数：9社10件（構成機関：3社3件を含む。）

5. 航空機産業製造人材確保・育成事業 (定款第4条第4項)

(緊急雇用創出事業基金事業 地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）)

(愛知県委託事業：15,826千円)

航空機構造組立職として失業者を新規雇用した中小企業を対象に、OFF-JT及びOJTを実施することで製造人材の雇用拡大を図る目的で、愛知県の委託事業を実施した。新規雇用失業者に対し、外部研修機関で1か月間のOFF-JTの後、所属企業で3か月間のOJTを実施。

支援先企業及び支援人数

東明工業株式会社 4名、株式会社エアロ 4名、株式会社テックササキ 1名

外部研修機関

株式会社パーソナック

6. 海外販路開拓支援実行委員会 (第4条第1項第2号、第5号、第8号)

(エアロマート名古屋2014出展支援実行委員会) (事業予算4,066千円負担金制)

フランスBCI主催の“エアロマート名古屋2014”に出展する県内中堅・中小企業の17社を対象に、出展の支援、コーディネーターを活用した商談支援、通訳派遣、企業・地元PR資料の作成等を実施。

愛知県、名古屋市、中部経済連合会、あいち産業振興機構、名古屋産業振興公社、名古屋コンベンションビューロー、C-ASTECの7団体による実行委員会組織として、立ち上げ。

* 9月24日 レセプション 名古屋商工会議所 大会議室

25日～26日 商談会 名古屋市振興会館（吹上ホール）第1・2ファッション館
第7会議室

* 支援企業：愛知県下の中核、中・小企業 17社

- * 参加企業・団体 162社・機関
- * 商談件数 約4,000件

- ① B C I オープニングセミナー（4テーマ）[9月24日（水）総聴講者：229名]
 1. 愛知県 「アジアNO. 1航空宇宙産業クラスターの形成に向けて」
 2. 三菱重工業株式会社
 3. I H I 株式会社
 4. 全日本空輸株式会社
 5. B O E I N G
 6. A I R B U S G R O U P（アジア担当）
 上記企業によるプレゼンテーション時に、同時通訳支援。
- ② 商談・相談ブース出展企業 [9月25日（木）・26日（金）吹上会場]
 - * 愛知県下中小企業 17社 : 海外向け企業PRリーフレット作成支援
 - * 総合受付ブースの設置
- ③ コーディネータ（専門家）2名を支援要員として採用（期間前後・期間中）
- ④ レセプション会場での地元PRの為の、名産品を紹介
- ⑤ 吹上会場～名古屋商工会議所間の送迎バス手配と管理（市交通局協力）
- ⑥ 12か国の大使館・領事館との参加企業への参加企業リストの情報提供とワークショップ企画提案
- ⑦ 吹上ホール7階会議室にて、企業プレゼンテーション開催（発表企業：株吉見製作所）
- ⑧ 上記支援事業に付帯する業務の実施

7. 航空宇宙産業市内企業調査委託事業 （第4条第1項第2号）

（名古屋市委託事業 300千円）

名古屋市から委託を受け、名古屋市内で航空宇宙関連産業に係る業務を行っている企業154社を対象に、企業の現状とニーズを把握するため、設備投資、雇用状況、認証取得状況、海外を含む販路開拓予定等についてアンケート調査を実施した。

8. J A X A 宇宙一日出前授業委託事業 （第4条第1項第4号）

（名古屋市委託事業 600千円）

本事業は、将来の航空宇宙産業を担う可能性を秘めた児童、生徒を対象に、最先端の宇宙航空分野の研究開発を行っているJAXA職員を学校に派遣し授業を行うことにより小さいころから航空宇宙に興味・関心を持ってもらい、進学や就職に向けた航空宇宙産業に携わる優秀な人材の裾野拡大につなげるために実施。

公募数16校に対して29授業の応募があり、すべてに対応。

9. 航空宇宙産業海外ビジネス支援セミナー開催委託事業 （第4条第1項第5号）

（名古屋市委託事業 900千円）

本事業は、名古屋市内で開催される展示会を活用した併催・単独セミナーを開催。

* 10月22日(水)～24日(金) ポートメッセなごや 国際展示場 3号館

“TECH BIZ EXPO2014”にて、航空宇宙分野でのセミナーを開催

◆併催事業として名古屋国際見本市委員会へ運営・管理全般を委託(再委託費用476千円)

* 平成27年2月3日(火) 名古屋市中心企業振興会館(吹上) 第7会議室にてセミナー開催。

◇テーマ：海外ビジネス成功へのポイント～海外販路進出・拡大～

◎【海外市場展望等】：海外市場の展望、海外市場参入のポイント・留意点

(株) 海外物産 航空システム事業部 システム営業部長 宮 修一 氏

◎【海外進出事例紹介】：海外進出事例に学ぶ成功へのポイント・留意点

(株) 吉見製作所 代表取締役社長 吉見 幸春 氏

◎【知的財産保護】：海外事業に伴う知的財産リスクとその対策

(独) 工業所有権情報・研修館 海外知的財産プロデューサー 久永 道夫 氏

10. グローバル人材養成支援事業(ネットワークアドバイザー事業委託)(第4条第1項第4号)

(緊急雇用創出事業基金事業 地域人づくり事業(処遇改善プロセス))

(愛知県委託、電通再委託事業 約2,938千円)

本事業は、航空宇宙産業界の中小企業が直面する課題である、海外企業と折衝する担当者及びスタッフに対して自社PR(プレゼンテーションなど)を中心に、効果的な商談ができるポイントなどの講座を開催。

* 講師選択・運営アドバイス及び調整作業

本事業の対象は、“エアロマート名古屋2014”・“エアロマートトゥールーズ2014”へ参加企業の担当窓口スタッフを中心にヒヤリング。

ヒヤリングをもとに、コーディネータとの連携実務。

* 各企業の要望の聞き取りで開催当日のアシストアドバイス。

* 国内・海外企業への紹介

エアロマートトゥールーズ2014での、海外クラスターとの交流(実情ヒヤリング等)

11. 人材養成講座(C-ASTEC自主事業)

(第4条第1項第4号)

当センター自主事業として「アジア No1. 航空宇宙産業クラスター形成特区人材養成講座」を集中コース・分散コースの2講座開講した。

① 航空機技術 - 設計現場からのレッスン(協力:名古屋大学、JAXA) (594千円)

航空機の設計現場の体験を踏まえて、実践的な設計能力を有する技術者の養成を目指して実施。

3日間集中コース	4月20、21、22日	6名
構造	4月4、11、18日	10名
材料	4月25日	15名
装備	9月19、26、10月3日	12名

風洞試験と数値流体力学	9月26日	8名
音響構造解析技術	10月3日	6名
回転翼	4月4、11、5月9日	9名

② 航空機開発関連試験評価人材養成講座（愛知県、JAXA と共催）（765千円）

航空機開発における試験評価業務のうち、飛行試験を中心とした座学・実習により飛行試験評価能力を有する技術者の育成、創出を目的として実施。

受講者数：19名

10月11日から25日の毎週土曜日

関連試験全体概要、飛行試験実施要領、飛行特性（各論、試験方法等）の座学

11月8日 飛行試験実習

JAXA 実験用航空機「飛翔」双発ジェット機でフライト

飛行データ取得（ブリーフィング、飛行試験立会、デブリーフィング）

2月14、21日 飛行試験取得データの解析・評価実習

1.2. 各種イベント協力・研究支援等

（第4条第1項第2号、第4号）

- ① 航空機産業知的財産セミナーin グレーター・ナゴヤ 後援
（中部航空宇宙産業支援プラットフォーム）
主催：経済産業省中部経済産業局
7月2日（水）、桑山ビル 大会議室8A
- ② 航空機産業知的財産セミナーin 北陸 後援
主催：経済産業省中部経済産業局
7月3日（木）、富山地方合同庁舎5階共用会議室
- ③ 名古屋銀行航空宇宙産業セミナー 共催
主催：名古屋銀行
7月9日（水）、名古屋銀行 本店 9階ホール
- ④ 第10回全国学生室内飛行ロボットコンテスト 協賛
主催：一般社団法人 日本航空宇宙学会
7月27、28日、大田区体育館
- ⑤ YAC各務原 水ロケットまつり2014 後援
主催：かかみがはら航空宇宙科学博物館・日本宇宙少年団各務原分団
10月12日（日）、かかみがはら航空宇宙科学博物館
- ⑥ 第4回次世代ものづくり基盤技術産業展－TECH Biz EXPO 2014 協賛
主催：名古屋国際見本市委員会
10月22日～24日、ポートメッセなごや
- ⑦ 航空機産業セミナーin 松阪 共催
主催：百五銀行
10月27日（月）、松阪商工会議所

- ⑧ 第2回八十二航空宇宙産業セミナー 後援
主催：八十二銀行、長野経済研究所
1月4日（火）、シルクホテル ボールルーム
- ⑨ 第7回航空機産業セミナー 後援
主催：大垣共立銀行、岐阜県研究開発財団
1月21日（水）、岐阜グランドホテル 月の間
- ⑩ 航空宇宙産業参入セミナー 後援
主催：小牧市
2月17日（火）、小牧勤労センター大研修室
- ⑪ 航空機産業進出支援セミナー 後援
主催：三重銀行、三重銀総研
2月20日（金）、三重銀行 本店 大会議室
- ⑫ 航空機産業セミナー 後援
主催：愛知銀行
3月4日（水）、愛知銀行 名古屋駅前ビル 多目的ホール

13. 会員企業見学

(第4条第1項第5号)

- ① 株式会社 小坂鉄工所 4月15日（火）
「補助金を活用して導入した3次元測定機の紹介」
参加者：12企業・団体、18名
- ② 新東工業 株式会社
「ショットピーニング技術の紹介」
参加者：9企業・団体、16名

14. 損害保険代理店業務

(第4条第1項第7号)

(22千円)

- ・無人機（ドローン：マルチヘリコプター）の損害賠償保険等
- ・海外旅行保険（インターネット契約サービス）
- ・その他

15. 総会・理事会の開催

(1) 第2回定時総会

開催日・場所：平成26年6月16日（月） 名古屋栄ビルディング12階 特別会議室

報告事項：

- ① 平成25年度事業報告書について
- ② 平成26年度事業計画及び収支予算について
- ③ 公益目的支出計画実施報告及び完了確認請求について

議案：

- 第1号議案 平成25年度計算書類等の件
- 第2号議案 役員（理事・監事）の選任の件

総会記念講演会 「三菱重工における航空宇宙関連事業と産業クラスターの具体的展開」
講師：三菱重工業株式会社 執行役員 交通・輸送ドメイン 副ドメイン長
兼 生産統括室長 富永 史彰 氏

交流会：参加者 96名

(2) 第3回理事会

開催日・場所： 平成26年5月27日（火） 名古屋栄ビルディング12階 中会議室

議案：

- 第1号議案 平成25年度事業報告書及び決算報告書について
- 第2号議案 役員（理事・監事）の候補者推薦について
- 第3号議案 総会における書面議決について
- 第4号議案 入会会員の承認について
- 第5号議案 公益目的支出計画実施報告書について
- 第6号議案 公益目的支出計画の完了確認請求について
- 第7号議案 規程の改定について

(3) 第3回臨時理事会（書面決議）

開催日： 平成26年6月16日（月）

議案：

- 議案1 副会長の選定について
- 議案2 顧問の委嘱について

(4) 第4回臨時理事会（書面決議）

開催日： 平成26年11月10日（月）

議案：

- 議案1 平成26年度収支予算書（変更）（案）の承認に関する件
- 議案2 入会会員の承認について

(5) 第4回理事会

開催日・場所： 平成27年3月30日（月） 名古屋栄ビルディング 12階 特別会議室

報告事項：

- ① 平成26年度事業報告について（報告）

議案：

- 第1号議案 平成27年度事業計画書及び収支予算書の件
- 第2号議案 入会会員の承認の件

16. 運営協議会の開催

(1) 第2回運営協議会

開催日・場所：平成27年2月26日（木） 名古屋栄ビルディング 12階 特別会議室
議案：

- 1) 平成26年度事業実施報告について
- 2) 平成27年度事業計画及び収支予算について

(2) 定例運営事務局会議

産業界代表（三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、AETアビエーション(株)）から航空宇宙産業振興に必要な課題の提案、センター運営についての助言などをしていただき、事業に取り込むべき課題など及びその進め方について相互に議論をする場。必要に応じて、中部経済産業局、愛知県、名古屋市等にも出席を要請。

17. 庶務事項

(1) 登記事項

平成26年6月 理事の変更 登記

(2) 届出事項

平成26年6月 内閣府へ「公益目的支出計画実施報告書等」を提出（電子申請）。

平成26年11月 内閣府へ「公益目的支出計画実施完了確認請求書」を提出。（電子申請

【平成27年3月12日付をもって、内閣総理大臣から「公益目的支出計画の実施完了の確認書」を受理】（公益目的支出計画の実施が完了した日：平成26年3月31日）

18. その他

(1) 外部委員会等への参加

- ・愛知県航空機部品製造認証支援事業企画提案審査委員会 委員
- ・名古屋市航空宇宙産業設備投資促進補助金審査会 委員
- ・航空宇宙医療福祉機器産業等競争力強化支援事業費補助金審査委員会 委員
- ・平成26年度戦略的基盤技術高度化支援事業「植生等地上観察用垂直離着陸型小型無人飛行システムの簡易操作ソフトウェア開発」研究開発委員会 委員
- ・平成26年度中小企業の航空機産業への参入に係る国際認証の取得の課題調査委員会 委員

(2) 航空宇宙産業等に関する情報発信

- ① C-A S T E Cメールマガジンの発行
- ② 最新情報の提供（ホームページ）